

バスケットボール競技実施要領

1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則令和3年度版【(公財)日本障害者スポーツ協会制定】に定める以外は、同年度の(公財)日本バスケットボール協会競技規則及びこの要領に定めるところによるもののほか、参加団体代表者会議確認事項による。

2 競技等

(1) チームの構成

チームの構成は、コーチ1名・アシスタントコーチ1から2名・マネージャー1から2名及び選手16名以内とする。ここでいうコーチとは、ゲーム中実際にチームを指揮するものを指す。

コーチ・アシスタントコーチ・マネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねるコーチ・アシスタントコーチ・マネージャーを含めて16名とする。

男女別にチームを構成する。

(2) 競技方法

①試合はトーナメント方式とし、3位決定戦を行わない。ただし出場チームが少ない場合は、リーグ戦形式で行う場合がある。

時間に余裕があれば、フレンドリーマッチを行うことができる。

②試合時間は、8分クォーター制とし、クォーター間のインターバルを2分、ハーフタムを10分とする。

第4クォーター終了後、同点の場合は延長戦を行う。(終了後2分休憩、3分延長戦、以後決着がつくまで繰り返す)ただし、決勝戦以外はVゴール方式とする。

③出場選手は濃色と淡色(白色)の2種類のユニフォームを用意し、原則として組合せ番号の若いチームが淡色(白)のユニフォームを着用すること。

背番号は0、00番及び1～99番までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりと分かるように付けること。

④コーチ会議の場において、申し合わせ事項を設けることができる。

3 その他

(1) 開始式、表彰は、通告とする。

(2) 関東ブロック地区予選会派遣

原則として優勝チームが出場することとする。各チームから選抜する場合は、優勝チームのコーチと関係者で話し合いの上決定する。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大予防の取り組み

千葉県障がい者スポーツ協会が別に定める「千葉県障害者スポーツ大会新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」に基づき実施する。